

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2018年9月20日（木曜日） 11時30分～12時30分

場所：兵庫県立大学姫路工学キャンパス・A棟1F（年会B会場）（兵庫県姫路市書写2167）

出席代議員：青木、大朝、大向、岡村、奥村、柴田（一成）、林（左絵子）、望月、鈴木、深川、谷本、野村、土居、横山、百瀬、大内、井岡、梅村、一本、河野、郷田（以上21名、委任状11名）

欠席代議員：相川、海部、河合、草野、小久保、須藤、田村、常田、戸谷、馬場、渡部、犬塚、榎戸、松下、坪井、北山、縣、鶴、長田（以上19名）

伊王野・山下庶務理事、早野・柴田会計理事、寺田年会理事、佐藤事務長、田口谷事務長補佐が出席した。柴田一成会長、土居副会長、林副会長は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が21名、議長委任状が12件、合計33件で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。前回代議員総会（2018年6月2日）の議事録が確認された。

また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：柴田一成

署名人：柴田一成

II. 議題

II-1. 安全保障と天文学について（柴田一成）

特別セッションで議論を行い、その後、記者への説明会を開催して質問が多く出されたこと、テレビ放送と新聞に報道されたことの報告があった。声明案を作成するWGのメンバーの候補の提案があり、助教クラスが少ないことが指摘された。また、会員全体へのアンケートを実施する提案とその質問内容の原案が提示された。

III. 報告

III-1. 理事会（2018年9月19日）の報告（伊王野）

2018年9月19日に開催された理事会の議題および報告事項が報告された。

III-2. 日本学術会議天文学・宇宙物理学分科会報告（深川）

マスタープランは、天文学の将来を分野の枠を超えて審査する。31件の応募があり、15件をシンポで発表して頂いた。2020年春にマスタープランの公開予定。

III-3. 日本学術会議IAU分科会報告（深川）

IAU会員の新会員の推薦はIAU分科会で予備審査を行う。日本で開催予定のIAUシンポジウムとして“Challenges in Panchromatic Modelling with Next Generation Facilities”（IAUS341、大阪），“Astronomy for Equity, Diversity and Inclusion -- a roadmap to action within the framework of IAU centennial anniversary”（IAUS358、三鷹）がある。IAU総会で、ハッブルの法則をハッブル・ルメートルの法則と呼称変更するかどうかについて議論があり、会員のアンケートを取るようになった。次回総会は韓国で開催される予定であり、次々回総会は南アフリカで

開催される予定である。日本天文学会の HP に IAU 分科会報告に加えて天文学・宇宙物理学分科会報告のスライドも掲載することとする。

III-4. 現在開催中の年会について（年会実行理事・寺田）

現時点で、講演あり 528 名、講演なし 200 名の合わせて 728 名の参加者がある。

2018 年 9 月 20 日

議長・署名人：柴 田 一 成 印